

家庭教育だより



まごころ

No.29

平成27年11月号

編集・発行 深谷市教育委員会 生涯学習スポーツ振興課
〒366-0823 深谷市本住町 17-3 TEL048-572-9581

「地域の思い」

近年、少子高齢化や核家族化の進行、ライフスタイルの多様化など、地域における人々の生活環境は大きな変化を見せています。このような変化によって、人と人とのつながりは薄れ、子どもたちは地域の中で親以外の人々と関わる機会が少なくなりつつあります。地域において色々な人と関わることは、子どもたちにとって、社会のルールやマナー、人付き合いなどを学ぶ大切なきっかけとなります。また、たくさんの目で子どもたちを見守ることで、子どもたちの安心・安全にもつながります。地域の関係が希薄化してきている現在、地域で協力して子どもたちを育てていくという思いが一層求められています。

地域の

取組

深谷市藤沢の境地区で子どもたちを見守る活動をしている「境自主防犯パトロール隊」を取材させていただきました。今回は、こちらのグループが実施している2つの取組を紹介します。

防犯パトロール

境寺子屋教室

平成19年から始められた「防犯パトロール」。今では9人の方が子どもたちの安心・安全を見守っています。登校時には、小学生の各通学班にパトロール隊の方が同行します。下校時や夜間には、青色回転灯を装着した車を使用して、藤沢小・中学校区域のパトロールを実施しています。（通称：青パト）



青色防犯パトロールを実施するには、警察の証明を受ける必要があります。自動車は個人の車を使用し、燃料などの費用は、資源回収でまかなっています。

また、夏休みなど学校が休みの日にも、夜間のパトロールを実施しています。その他にも、通学路で危険な場所がないか確認し、自治会などと連携し、危険な箇所の撤去にもあたっています。

「境寺子屋教室」は『共働きや核家族の家庭が増えている昨今、夏休みに子どもが1人で過ごすことが少なくなるように』という思いから、平成24年に始められました。

今年は1年生～6年生まで、全15名の子どもが参加し、地区のふれあいセンターを利用して実施しています。



夏休みの10日間ほど、午前中の時間を使って、学校の宿題をしたり、遊んだりする内容となっています。

宿題の他にも、講師の方を招いて「スライム作り」や「バルーンアート」、「ブーメラン作り」など様々な行事も行っています。

パトロール隊の声

- ・この取組を通じて、子どもたちの顔や名前を覚えることができます。畑仕事をしていると、子どもたちの方から挨拶してもらえることがあり、なかなか体験できることではないので嬉しく思っています。

保護者の声

- ・子どもたちが、とても楽しんで参加していると思います。
- ・防犯パトロールのおかげで、子どもたちが安全に登下校することができて、ありがたく思っています。

子どもたちの声

- ・スライム作りや、おりがみ、バルーンアートがあって楽しいです。
- ・勉強もできるし、遊ぶ時間もあるって楽しいです。また来年も参加したいです。

子育てのおもいで



3人の子を持つ母です。我が家は子ども達の歳が近い為、幼い頃は「可愛い」という気持ちを持つ余裕もなく、ただただ大変な毎日だった思い出の方が多く残っています。初めての育児は思い描いていた育児とは雲泥の差であり、世の中全てのお母さんを改めて尊敬したものです。登園、登校時には毎日誰かしらがイヤイヤ病。誰もが通る道とは聞くものの、心が折れそうな程の思いで毎朝を過ごした事。誰かが風邪を引けば順番で風邪を引き、1ヶ月弱の看病漬けになる事も当たり前でした。そんな毎日の繰り返しの中で、目の前の事をただ必死にこなしているだけかと思っていましたが…いつの間にか子ども達は成長し、気付けば時に私を支えてくれる存在となりました。ふと幼い頃の写真を目にするると…こんなに可愛かったのに慌ただしさが優先であった事が勿体無かったな、と切ない思いにもなります。現在、長女は中学生になり今までとは違う対応が必要になるであろう事を感じています。反面…私も親という立場と同時に1人の人間。子ども達が幼い頃には手が出せなかった自分自身の目標もあります。よく聞く言葉ですが、手は離しても目は離すな。目は離しても心は離すな。そんなスタンスで、私の頼りない背中を少しでも感じて貰いつつ…今後も親子揃って笑って泣いて喧嘩しながら歩いて行けたら良いな、と思います。

川本北小学校 保護者

あなたは「かぜ」をひきやすいかな？

- | | |
|--|--|
| ☐ ①朝ごはんは食べない | ☐ ⑦運動は嫌い。あまりしない |
| ☐ ②遅くまで起きている | ☐ ⑧部屋は乾燥している |
| ☐ ③冬でも冷たい食べ物が好き | ☐ ⑨部屋は寒い |
| ☐ ④お風呂は湯ぶねにつからない | ☐ ⑩好きなものしか食べない |
| ☐ ⑤うがい・手あらいは面倒くさい | ☐ ⑪人ごみによく出かける |
| ☐ ⑥寒いから換気はしない | ☐ ⑫ふだん、あまり笑わない |

当てはまる数が多いほど、かぜを引きやすいのです。

体の中には**病気やウイルスから体を守る力**があります。それが… **免疫力**

体温をアップ **免疫力アップ**
■体温が平熱より1℃下がると、免疫力は30%低くなり、1℃上がると5～6倍になると言われています。

■平熱が低い人は体温を上げよう！

運動をしよう！
筋力が増えると
体温も上がる！



服装も冬は保温
を第一に！



免疫力を高めるには、腸内環境を整えること（特にビフィズス菌やポリフェノールが有効）、規則正しい生活、バランスのよい食事を心がけましょう！

わが校自慢

～明戸中学校～

《地域の伝統文化「新井橋獅子太鼓」》

「新井橋獅子太鼓」は、明治時代より百数十年、本校の学区内にある諏訪神社の夏祭りに毎年奉納されている獅子太鼓をもとにしたものです。学区にはその保存会（「新井橋獅子太鼓保存会」）があるので、生徒が地域の伝統文化に親しめるよう、保存会の方々に協力していただき、3年生が週1回、放課後の約1時間を使って練習します。



深谷市民文化会館で開催する青桐祭（校内音楽会）において、太鼓は保存会の方々とともにオープニングセレモニー（約15分）を務めます。毎年、保存会の方々の丁寧な指導により、生徒も真剣に練習に取り組み自信を持って本番に臨むことができます。

《生徒の声》

地域の方々のご指導により、楽しみながら練習に取り組み、伝統文化に親しむことができました。ありがとうございました。



《保存会の方の声》

毎年、生徒さんと「青桐祭」で発表できるのを楽しみにしています。粘り強く努力した結果、白増しに上手になり本番では見事な演奏を披露することができました。ぜひ、「新井橋獅子太鼓」を次代に伝えてください。

親子でクッキング ～ごまみそラーメン～



★給食の定番、ごまみそラーメンは、子どもたちに大人気のメニューです。ごまや香味野菜の風味がアクセントとなり、食欲をそそります。ぜひ、ご家庭で一緒に調理してみてください。

＜材料 4人分＞

- ・豚ひき肉 70g
- ・しょうが ひとかけ（みじん切り）
- ・にんにく ひとかけ（みじん切り）
- ・みそ 小さじ1
- ・炒め油 小さじ2
- ・玉ねぎ 中1/3個（薄切り）
- ・にんじん 中1/4本（千切り）
- ・もやし 80g
- ・きくらげ（乾） 2g（もどして切る）
- ・にら 20g（2cm幅）
- ・長ねぎ 30g（小口切り）
- ・冷凍コーン 25g（解凍する）
- ・メンマ 25g（大きければ切る）
- ・赤みそ 60g
- ・中華スープの素 小さじ1
- ・ごま 小さじ2（半ずりにする）
- ・ごま油 小さじ1
- ・塩、こしょう 少々
- ・水 800ml
- ★中華麺（生麺）4人分

＜作り方＞

- ①豚ひき肉は、しょうが、にんにく、みそと混ぜ合わせておく。
- ②もやしはさっと下ゆでしておく。
- ③鍋に半量の油を熱し、①の肉を炒め、取り出しておく。
- ④鍋に残りの油を入れ、にんじん、玉ねぎの順に炒め、水を入れて、アクをとりながら煮る。
- ⑥きくらげ、メンマ、③の豚肉を入れる。
- ⑦②のもやしとコーンを加え、みそと中華スープの素を入れ、調味する。（必要に応じて塩、こしょうを加える。）
- ⑧長ねぎ、にらを入れて煮る。
- ⑨最後にごまごま油を入れて、仕上げる。
- ★平行して別の鍋に湯を沸かし中華麺をゆでておく。

※味見をして、調味料や水は、適宜調節してください。

※学校では、麺は給食用のホット中華麺を使用しています。ご家庭では、市販されている中華麺をゆでて、ご使用ください。⑨の前に、ゆでた中華麺を加えると熱々で召し上がれます。



♡お肉にしっかりと下味をつけるのがおいしいさアップのポイントです♡

★さらにひと手間★

- ・ごまをから炒りすると、香りがより引き立ちます。
- ・お肉の下味に、ねぎの青い部分（みじん切り）を加えてもおいしいです♪



子育てQ&A



Q 部活に熱心に取り組んでいた息子が、部活でレギュラーになれなかったと落ち込んでいます。どのように声をかけ、接してあげればよいでしょうか。

（中1男子 保護者）

A 中学に上がって自分の好きな活動に一生懸命打ち込み、頑張っていた姿を見ていただけない、親としても残念に思いますよね。親からすると子どもが一つの活動に熱心に取り組むだけで意義のあることですが、子どもは精一杯努力した分結果が出ることを望んでいます。ともすると、レギュラーになることや競争に勝つことだけに目を向けやすく、負けたときの落ち込みは大きいかもしれません。一方で、中学生にとって部活動は、努力する力をつけることや、異年齢集団の中で先輩後輩との付き合い方、マナーを学ぶ大切な場です。部活動を通して、「たくましくなったね」や「我慢強くなったね」、「ねばり強く頑張っているね」などと、本人が気づきにくい部分の成長を伝えてあげましょう。保護者が見守り、励ますことで、子どももまた次の目標に向けて頑張ることと思います。

深谷市立教育研究所 学校福祉相談員 赤木友彦

教育研究所では、お子さんの健やかな育ちを応援するため、ご家族やご本人との相談を行っています。

深谷市立教育研究所
〒366-0823
深谷市本住町12-8
TEL 048-572-9456



まごころクイズ

明戸地区の伝統文化として親しまれており、明戸中学校の生徒の皆さんも練習している楽器は何でしょうか？

①：琴 ②：三味線 ③：太鼓 ④：尺八

はがきに、答え・〒住所・氏名・年齢・電話番号・ご意見や感想を明記の上、平成27年12月1日（火）（消印有効）までに下記のあて先へ。正解者の中から抽選で10名様に粗品を差し上げます。

あて先 〒366-0823 深谷市本住町17-3
深谷市教育委員会生涯学習スポーツ振興課「まごころ」担当へ
TEL 572-9581 FAX 574-5861